

6月4日(木曜日)「すばらしい祝福」

【新改訳 2017】

## 詩篇 21・1－13

「主よ。王はあなたの御力を、喜びましょう。……あなたは彼を迎えてすばらしい祝福を与え、彼のかしらに純金の冠を置かれます。……あなたは、とこしえに彼を祝福し、御前の喜びで彼を楽しませてくださいます。」(1－6節)

これは、王に対する神の祝福を歌っています。主の御助けによって勝利を重ねてこられたこと、あるいは、今安泰であることを喜び、神に感謝している歌と思われるます。

ここで、主は「すばらしい祝福」を与えてくださる、とあります。このことばの内容は「良きものの祝福」の意味でもあり、

「繁栄」を表すと言われています（『新聖書注解』）。

次の行では、「純金の冠」を置かれているとも言っています。王の載冠式のことかもしれませんが、この表現も、神の祝福のすばらしさを表しています。そして、このことは神の民への祝福のすばらしさも証明しているのです。このことがわかり、神のみ前での喜びを楽しめる信仰生活でありますように。

～祈り～

主よ。あなたのお与えくださる祝福は、すばらしいものであることを感謝します。どうか為政者も、また、多くの人たちもこのことがわかりますように。

【学びのために】

王は神に立てられ、祝福される者であるという信仰と証の詩。

(参考区分) 1-6節 王に対する神の祝福、  
7-12節 神に対する王の信頼と期待、1  
3節 結びの賛美。